

令和6年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団体名	一般社団法人パペットナビゲート	
施設名	人形劇場とらまる座	
内定額	9,503	(千円)

1. 基礎データ

(1) 開館日数・事業本数・貸館日数

項 目		令和5年度	令和6年度
開館日数		174	113
年間事業本数（※1）	主催事業	18	20
	公演事業	9	7
	（内、本助成対象事業本数）	9	3
	人材養成事業	4	8
	（内、本助成対象事業本数）	3	3
	普及啓発事業	5	5
	（内、本助成対象事業本数）	4	4
	その他 内容： 記入してください		
	ホールごとの貸館日数	10	2
	ホール名： とらまる座ホール 座席数： 245	10	2
貸館日数	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		
	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		
	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		
	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		
	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

(2) 施設利用者数・利用率

項 目		令和5年度	令和6年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	19,102	17,670
	公演事業	10,483	8,165
	人材養成事業	309	625
	普及啓発事業	8,310	8,880
	その他 内容： 記入してください		
	貸館事業入場者・参加者数	437	135
	その他 内容： 記入してください		
	計	19,539	17,805
	施設の利用率(%)	61.5%	72.5%

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設(美術館、図書館等)のみへの入場者数は除きます。

(3) 公演事業データ

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	入場者・参加者率	事業本数内訳						
						演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※4）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	8	134	10,235	50.8%	8						
	共催・提携公演（※2）	3	8	494	45.7%	2					1	
	貸館公演（※3）	1	4	180	30.0%	1						
	計	12	146	10,909								
令和6年度	主催公演（※1）	7	113	8,165	45.2%	7						
	共催・提携公演（※2）	3	8	360	37.5%	2					1	
	貸館公演（※3）	1	2	80	33.3%	1						
	計	11	123	8,605								

※1 名義主催は除きます。

※2 名義共催を含みます。

※3 「貸館公演」における「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は概算で構いません。

※4 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

* 令和6年度データ補足

令和6年度は人形劇場とらまる座 改修休館3ヵ月（11月6日～2月6日）

そのため、開館日数は例年より少ないが、利用率は高くなっている。

主催公演数、観客数は例年より少なくなっている。

2. 公演事業の実績記録と自己評価

(1) 各公演事業における 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)

- 令和6年度助成対象事業のうち公演事業について、助成対象事業ごとに自己評価を記入してください。

当館の公演事業における評価指標
各評価指標の参考＝「劇場・音楽堂等評価」ハンドブック／公立文化施設協会発行(平成24年)より設定。5段階評価。
指標①②については公演アンケート(令和6年度 観客動態調査アンケート)より算出。③④については実施状況の記録(記述およびデータ分析)等より算定。
自己評価の考察等については3-①創造性・企画性に記述する。

事業番号	事業名	入場者数	入場者率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	備考
公-01	定期人形劇公演事業1(招聘プロ劇団公演)	目標値	7,440	62.6%	①観客満足度(5段階) 大変満足 5 4 3 2 1 不満	平均 4.2	平均 4.5	集客 入場者の目標達成率＝82.6% ①観客満足度 有効回答数365件において5段階評価平均4.5となり目標を上回った。 ②発信影響力 有効回答数371件において東かがわ市外の地域からの来訪者率が85.5%となり、目標を上回った。 ③企画力 統括団体(全国専門人形劇団協議会)の総会、その他連携事業等において積極的な情報収集に努めた。 ④制作力 全国より招聘したプロ劇団の公演を、年間を通して計75公演開催した。	
					②発信・影響力 地域(東かがわ市)外観客動員率について	5:85%以上／4:70%以上／3:50%以上 ／2:30%以下／1:10%以下	5:85.5%		
		実績値	6,254	46.3%	③企画力 質の高い企画のための情報収集	5:積極的に外部と接触／4:人的ネットワーク活用／3:専門誌・資料活用／2:業者情報／1:なし	5		
					(制作力) プロ団や芸術家による高レベルな公演	5:年間を通じて開催／4:年2～3回実施／3:年1回実施／2:まれに実施／1:ほぼなし	5		
公-02	定期人形劇公演事業2(委託プロ劇団公演)	目標値	3,600	66.7%	①観客満足度(5段階) 大変満足 5 4 3 2 1 不満	平均 4.0	平均 4.6	集客 入場者の目標達成率＝36.6% ①観客満足度 有効回答数147件において5段階評価平均4.6となり目標を上回った。 ②発信影響力 有効回答数161件において東かがわ市外の地域からの来訪者率が88.1%となり、目標を上回った。 ③企画力 委託劇団の活動状況や、創作過程での確認等積極的な情報収集に努めた。 ④制作力 委託プロ劇団の公演を、年間を通して計30公演開催した。	
					②発信・影響力 地域(東かがわ市)外観客動員率について	5:85%以上／4:70%以上／3:50%以上 ／2:30%以下／1:10%以下	5:88.1%		
		実績値	1,317	24.4%	③企画力 質の高い企画のための情報収集	5:積極的に外部と接触／4:人的ネットワーク活用／3:専門誌・資料活用／2:業者情報／1:なし	4		
					(制作力) プロ団や芸術家による高レベルな公演	5:年間を通じて開催／4:年2～3回実施／3:年1回実施／2:まれに実施／1:ほぼなし	5		
公-03	特別人形劇公演事業(海外劇団作品公演)	目標値	260	72.2%	①観客満足度(5段階) 大変満足 5 4 3 2 1 不満	平均 4.5	平均 4.5	集客 入場者の目標達成率＝31.5% ①観客満足度 有効回答数52件において5段階評価平均4.5となり目標と同値であった。 ②発信影響力 有効回答数57件において東かがわ市外の地域からの来訪者率が78.9%となり、目標をやや下回った。 ③企画力 海外公演の企画団体および舞台技術スタッフと連絡を密に取り合い、積極的な情報収集に努めた。 ④制作力 芸術性の高い海外劇団公演を、2公演開催した。(本助成対象外の海外劇団公演も別途2公演開催している)	
					②発信・影響力 地域(東かがわ市)外観客動員率について	5:85%以上／4:70%以上／3:50%以上 ／2:30%以下／1:10%以下	4:78.9%		
		実績値	82	27.3%	③企画力 質の高い企画のための情報収集	5:積極的に外部と接触／4:人的ネットワーク活用／3:専門誌・資料活用／2:業者情報／1:なし	5		
					(制作力) プロ団や芸術家による高レベルな公演	5:年間を通じて開催／4:年2～3回実施／3:年1回実施／2:まれに実施／1:ほぼなし	4		
		目標値							
		実績値							

3. 自己評価

評価項目①:創造性・企画性

評価の観点
・(企画力)地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・(制作力)優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・(発信力・影響力)圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・(レジデントカンパニー・アーティスト)当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- ・ 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら、事業類型ごとに自己評価を記入してください。

	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
公演事業	①観客満足度(公演アンケート) ②専門家(公立文化施設協会支援事業派遣員等)による公演事業についての総合評価(企画力・自主性・創造性・牽引力・実務技能・技術・接遇)	①全公演における観客満足度の平均値4.2以上 ②5項目・5段階評価における評定平均値および総合評価4以上 総評記述における高評価	①全公演における観客満足度 有効回答数740件において 5段階評価平均4.6となり目標を上回った。 ②全国専門人形劇団協議会 専務理事および 国際人形劇連盟(UNIMA)日本センター 副会長・事業委員長による評価を受けた。 5項目・5段階評価における 評定平均値= 4.5(前者4.6/後者4.4) 総合評価= 5(前者5/後者5) 総評記述においても、優れた企画内容、人形劇拠点としての責務、企画実務量に対する労い、将来における期待等の好評記述をいただいた。	当該劇場では通常、アンケートは劇場ロビーに設置しているだけであるが、本年は公演事業の意義・成果を分析するため「観客動態調査アンケート」として、7月～11月の全公演において、 <u>中学生以上を対象としたアンケート</u> を観客手渡しにて実施した。満足度項目においては、回答の88%が「4」以上の回答(「5」回答が62%)であり、世間一般には「子ども向け」と認識されている人形劇プログラムが大人に対しても高い満足度を得られるものであることが示されたことは、当施設および人形劇界にとって大きな励みになるものである。 集客においては、前年度までの3カ年特別周年期(とらまる座30周年・パペットランド20周年)を終えての反動と3カ月の施設休館もあり当初目標よりも少ない結果であったが、全国の多様なプロ劇団の公演を年間を通じて100回以上開催する当劇場の公演事業は、量・質ともに国内人形劇中枢機関から高い評価を得ることができた。 世代・人種を選ばない魅力を持つ人形劇公演のバラエティ豊かな開催は、地域特有の劇場の存在意義を高め、地域内外における人形劇事業の周知啓蒙、および、将来を担う子ども達～大人を含め舞台芸術分野・地域の芸術文化振興に大きく寄与するものであったといえる。		
人材養成事業	①参加者満足度(育成企画参加アンケート) ②講師、視察員等による育成事業についての評価(企画主旨・マネジメント・育成成果(期待度))	①育成企画における参加者満足度の平均値4.2以上 ②3項目・5段階評価における評定平均値および総合評価4以上 総評記述における高評価	①育成企画参加者の満足度 海外ワークショップ…平均値5.0 トライアルプログラム…平均値5.0 全ての参加者が満足度「5」回答。 目標を大きく上回った。 ②育成企画の講師2名から評価を受けた。 3項目・5段階評価における 評定平均値= 4.7(両者とも4.7) 総合評価= 5(両者とも5) 目標を大きく上回った。 トライアルプログラムについては、創作・公演の機会提供と共に、ディスカッションも付加されていることが高く評価された。	元来、人形劇操演の理論は徒弟的に伝搬されることが多く、普遍的な理論として教示することは難しいことであるが、本年の海外人形劇ワークショップ:ネヴィル・トランター氏のワークショップでは実に的確にそのポイントが教示されていた。グループ発表での取り組みは参加者同士の創造性交流の機会ともなり、参加者の満足度の高さはアンケートにも示されている。 トライアルプログラムは、人形劇はもちろん、他ジャンルのパフォーマーにおいても、創造性向上を図り、新作・実験作の創作・公演機会とともに、ディスカッションを併催して計画。海外ワークショップにおいて、トライアルプログラムの鑑賞・ディスカッションに参加する構成としたことも含め、講師陣からも高い評価を得られた。 ただ、企画意図としては人形劇以外のジャンルからの参加を期待したものであったが、結果的にはプロ・アマの人形劇団員の参加が中心となった。他ジャンルからの参加を実現するための広報戦略は今後の課題となっている。		
普及啓発事業	普及成果分析(普及企画実施アンケート) 企画の実施会場職員、行政職員等による普及企画についての評価(地域における有意性・継続希望・将来展望)	3項目・5段階評価における評定平均値および総合評価4以上 総評記述における高評価	普及事業:地域会館公演の会場職員および 小学校人形劇クラブ担当教員から評価を受けた。 地域会館職員2名の評価 3項目・5段階評価における 評定平均値= 4.0(両者とも4.0) 総合評価= 4(両者とも4) 集客が少なかったことについての労い、 企画内容の面白さに好評を得られた。 人形劇クラブ担当教員の評価 3項目・5段階評価における 評定平均値= 4.3 総合評価= 4 学校になじみにくい子が活躍できることと 高齢者施設等での公演活動について 好評を得られた。	本年は人形劇場とらまる座が改修により3ヵ月休館することもあり、当初予定より数多く外部プロ劇団の小作品公演を実施するなど劇場外公演:人形劇ミュージアムでの企画を拡充し、来場者数は目標値7800人を上回る8340人であった。人形劇ミュージアムでの公演は、出演者と観客が気軽に交流できる機会となっており、観客の創造性・芸術文化振興においても有意義なものである。 とらまる座施設外における地域会館での人形劇イベントは、とらまる座が位置する旧大内町地区外での人形劇文化振興を図る企画であるが、集客には厳しいものがあった。しかしながら来訪入場者および施設職員には好評を得られ、特に、とらまる座(とらまる公園)への来訪が困難なお年寄りや低年齢乳幼児を運れた家族にとってありがたいとの好評を得られた。 小学生劇団の育成事業では、本年度の事業においてアウトリーチ人形劇イベントにてプロ劇団と同一会場で上演する機会を計画し、子どもたちの創造性育成に有意義な取組みとなった。地域特有の文化事業の一端を子ども達の活動が担うという取組みは住民へのアピールも大きく、カーニバル・とらまる座での上演発表には多くの地元民が訪れ、地域文化教育の振興・啓蒙にも貢献できるものであった。		

(2) 「創造性・企画性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

2021～2023年度については、特別周年期間(とらまる座30周年・パペットランド20周年)として、公演事業の拡充を軸に事業計画を構成してきたが、本2024年度には人材育成事業、普及事業に新たな要素を盛込んで計画・実施した。 人材育成事業における「新作・実験作トライアルプログラム」は、3年の構想・試行期間を経て今年度より実施。人形劇を含むアートパフォーマーを対象に新作・実験作の実演機会を有観客環境として提供することと、上演後のディスカッションにおいて創造性を深めることがセットとなった企画である。創作的意図と実現度の検証や、作品における工夫のポイントを他者を交えて確認していく時間が、進行と雰囲気作りの良さもあって大変有意義だったとの評価が得られている。実演者の創造性・新たな創造性を実践できる機会としての意図は概ね成功し、ディスカッションおよび他の実演者との交流も含め、芸術創造性向上に大きく寄与した企画であったといえる。参加アンケートにおいても全ての参加者から「同等の企画があればぜひ参加したい」との返答があった。 普及事業では小学生人形劇団育成事業/地域会館人形劇イベント企画において、子どもたちがプロ劇団と同一会場で上演する企画として計画した。互いの上演作品を鑑賞しあつての交流機会ともなり、プロ劇団から小学生作品のレベルの高さについて好評を得られたことは子供たちにとっても非常に有意義なことであった。また、当方の子ども劇団育成事業について、創造団体に知ってもらう機会となったことの意義も大きかったと思われる。小学生劇団活動においては、高齢者施設での上演も計画しているが、お年寄りは子ども達の上演をととても楽しみにしていること、子ども達と交流する機会があることがとてもありがたいと、施設職員から好評を得ている。 本年は、学校に馴染みにくい児童が人形劇クラブの活動に参加していたが、年間の活動をする中でそういった子がとても活き活きとして、クラブ活動をきっかけに学校生活の様子が変わったことが感動だったと教員から報告を受けた。また活動最終日に「人形劇クラブがなくなる(卒業する)のが寂しい」と人知れず漏らしていたのがとても印象的だった。	所感・考察等
---	--------

評価項目②:国際性(任意)

評価の観点
・(国際プレゼンスの向上)海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流)アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組)在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
専門家(公立文化施設協会支援事業派遣員等)による国際性についての評価 (国際性に優れている 5 4 3 2 1 国際性なし)	評定値3以上および総評記述における高評価	全国専門人形劇団協議会 専務理事および国際人形劇連盟 (UNIMA) 日本センター 副会長・事業委員長により、当方の実施事業における国際性について評価を受けた。 評価点…4(5段階) 小規模劇場でありながら、公演事業において年間に2企画4公演(当助成適用外の1企画2公演を含む)の海外劇団企画公演を主催実施していること、人材育成事業においても海外芸術家を講師とした人形劇ワークショップを実施していることが高く評価された。	とらまる座の位置する東かがわ市はもとより、中四国地方においては、運営体制・事業予算規模等の関係で、海外劇団の人形劇公演企画は実施機会に乏しいのが常である。しかしながら、当劇場では、2015年度の事業から海外企画経験豊富な劇場や企画団体との連携が密となり、2016年以降、ほぼ毎年海外公演事業を実施してきている。また、とらまる座の持つ優れた企画力・現場対応力は、企画団体や出演者からも高い評価を得ており信頼も厚い。 本年は、主演者ネヴィル・トランターの最終公演として企画。高度な社会性・人間性に富んだドラマをエスプリ・ユーモアたっぷりに構成するネヴィルの作品にはやや難解なものもあるが、本作「ユビュ王」は比較的シンプルな物語構成であり、理不尽でありながらどこか憎めないキャラクターたちのドラマと優れた人形美術と演技力を有し、他に類を見ない高度な演劇ドラマとハイアートが融合したプログラムを提供できたことは、人形劇文化および地域芸術文化振興として大きな意義があったと捉えている。 海外作品には、一般(国内)作品の公演とは異なる注目点があり、新たな客層の開拓や、施設および「東かがわ市」としての対外周知にも有意義であると思われるため、今後も定期的な海外公演企画の開催を目指していきたい。また、演出・人形劇指導者としても評価の高いネヴィル氏のワークショップも開催し、鑑賞者・参加者から好評を得た。		

(2) 「国際性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

これまで、とらまる座で実施される海外劇団公演の企画元団体は、主にブーク人形劇場(東京都)、エーシーオー沖縄(沖縄県)、いいだ人形劇フェスティバル実行委員会の3企画であったが、2024年には「しいの実シアター(島根県)」が新たな海外公演連携団体として加わり、現在2025年11月の実施計画を遂行中である。

また、本助成事業適用外のことではあるが、2024年10月下旬に、韓国ソウルで開催された「ソウル国際人形劇フェスティバル」の国際シンポジウム企画において、とらまる座館長:貴志周とブーク人形劇場支配人:伊井治彦の2名がゲストスピーカーとして登壇し、日本の人形劇事情についてのセミナー講師を務めた。
セミナー後の講師陣・主催団体との交流では互いの国の人形劇事情、芸術文化情勢についてより深い情報交換とディスカッションがなされ、隣国でありながらこれまであまり知られる機会に乏しかった韓国の人形劇事情についての知見が得られたことや、芸術創造団体・統括機関とのつながりを得られたことはとらまる座の事業における国際性の向上に大きく寄与したものと捉えている。

2025年には韓国と沖縄の創造団体・共同制作舞台作品の公演を計画。現とらまる座運営団体としては初となる韓国劇団公演の実施に取り組む。

評価項目③:地域文化拠点機能

評価の観点
・(文化拠点)地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携)地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供)次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。 ・ホール利用サービス(貸館事業)の向上 ※ ・自由設定の観点(任意)

※ ホール利用サービス(貸館事業)を行っていない場合は不要

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評定	所見	対応・追加情報など
①「東かがわ市民の会」会員数 ②地域アマチュア劇団の数 ③地域内他の施設でのアウトリーチ企画	①新規入会者100名 ②「東かがわ市アマチュア劇団協議会」への新規劇団加入(1劇団以上) ③10企画実施(前年7企画)	①2024年度「東かがわ市民の会」新規入会者＝107名 / 目標達成 ②「東かがわ市アマチュア劇団協議会」への新規劇団加入＝1劇団 / 目標達成 ③地域内他の施設でのアウトリーチ企画 10企画実施 / 目標達成	当地(東かがわ市)の人形劇事業は、とらまる人形劇カーニバル(旧名:レクリエーションと人形劇のカーニバル)の開催が発端となり、人形劇場とらまる座の設立、とらまる人形劇ミュージアム～とらまるパペットランド設立につながった経緯がある。 都市部に比して質の高い舞台芸術鑑賞機会の乏しい当地域における事業の実施は、子どもの情操教育への有意性といった人形劇鑑賞の社会通念的意義はもとより、公演実施施設において常在する職員の文化芸術民度の高揚にも寄与し、それが様々な行事に反映されていくとともに、地域の文化芸術民度の向上につながっていくものとしても有意義なものである。 近年、東かがわ市の人口減少率は大きく、地域全体の活力低下が大きな問題となっている。当事業の継続・発展が、東かがわ市のアピールポイントの一つとなって、将来の定住者増加ー地域活性化に結び付くよう、事業広報の強化を図っている。 人形劇場とらまる座／とらまるパペットランドが実施している普及啓発事業では、種々のアウトリーチ活動を含む様々な活動を展開している。本年度の実施事業においても、当地域における特有文化:人形劇カーニバル～人形劇場とらまる座(とらまるパペットランド)～人形劇文化の魅力を発信・啓蒙、発展を図り、地域特有の文化催事「とらまる人形劇カーニバル」など学校外での上演企画は、地域における活動広報および地域文化振興に寄与し、高齢者施設での上演企画は世代間交流の意義も大きい。本年度の活動ではアウトリーチ人形劇イベントにてプロ劇団と同一会場で上演する機会を計画し、子どもたちの創造性育成においても有意義な取組みとなった。 (貸館事業について) 当館は、主催の人形劇公演(年間120)で主要な日程がほぼ埋まることと客席構造の問題(前5列がフラットのため大人が集まる場合見にくくなる)から、積極的な貸館広報をしていない。本2024年度はとらまる座が3か月の改修休館もあったことから、貸館実績は1企画3日間にとどまったが、貸館利用に対しては舞台進行や技術的なサポート等を積極的に行い、利用者の満足度を高めている。		

(2) 「地域文化拠点機能」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

東かがわ市・香川県内の人形劇関連アマチュア劇団は、とらまる座の設立と共に20年を越える歴史を持つ。昨今の社会情勢から全国的にメンバーの高齢化・新規参入困難などアマチュア劇団の活動は厳しくなっているが、当地のこれまでの活動が実を結び(?)当年は東かがわ市アマチュア劇団協議会に新規参入が1団体あった。本事業はアマチュア劇団の創造性・活動意欲を刺激・育成し、芸術文化活動の継承に貢献している。
③地域内他の施設でのアウトリーチ企画 2024年度実施企画 1. 東かがわ市内巡回公演企画 (会場:市内子ども園 6カ所) 2. 小学生劇団育成企画 (会場:大内小学校) 3. とらまる人形劇カーニバル2024 プレイベント (会場:白鳥コミュニティセンター) 4. 冬でもホカホカ人形劇まつり (会場:引田公民館) 5. 小学生劇団 高齢者保養施設での公演企画 (会場:絹島荘) 6. 三本松宵まつり ステージパフォーマンス & ワークショップ出展企画 (会場:東かがわ市三本松商店街) 7. とらまる人形劇カーニバル2024 体育館公演企画 (会場:らまるてぶくろ体育館) 8. アマチュア劇団 土曜授業公演企画 (会場:白鳥小学校) 9. 高原水車小屋 イベント 人形劇公演 & ワークショップ出展企画 (会場:高原水車) 10・Art summit on the 御山 出展企画 (会場:白鳥神社)

評価項目④:多様性とアクセシビリティ

評価の観点
・(プログラムの多様さ)プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ)アーティストやスタッフとして参画する人々の属性(性別、年代、居住地、他)が多様である。 ・(アクセシビリティ)障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
①人形劇公演の劇団数(プロ劇団) ②創造団体＝観客の交流プログラム参加者数 ③身障者・支援学級等の利用団体における評価	①プロ25劇団以上 ②200名以上 ③施設利用アンケート5項目・5段階評価における評定平均値および総合評価4以上。総評記述における高評価。	①2024年度人形劇公演の劇団数(プロ劇団) 招聘プロ公演…21劇団 委託プロ劇団…1劇団 特別公演…4劇団(本助成適用外企画含む) 計26劇団 / 目標達成 ②創造団体＝観客の交流プログラム参加者数 夏休みイベント期において「人形劇わくわくタイム」実施。参加者数計＝291名 / 目標達成 ③2024年度 人形劇場とらまる座における身障者・支援学級等の団体利用 無し * 人形劇ミュージアムの利用＝2団体 館内展示や施設利用時のスタッフの対応等について高評価を得られた。	とらまる座の自主事業は人形劇の主催事業に特化しており、定期公演事業では、地域の人々に対し、本格的な舞台人形劇鑑賞の機会を日常的に提供するため、全年齢対象のプロ劇団人形劇公演を年間100回以上(招聘プロ劇団:65公演＋委託プロ劇団:35公演を基準とする)開催してきている。当年度は劇場の改修休館が3カ月間あったが、年間113公演を実施(本助成適用外公演企画を含む)した。 当劇場の公演企画では、地域やその劇場限定的な劇団の公演ではなく全国各地のプロ劇団の人形劇公演を年間を通じて定期的に開催しており、その特異性が地域圏外からの集客力につながっている。また、さまざまな劇団の作品を種類豊富に提供することは、人形劇文化の奥深さを啓蒙する上で有意義なものであり、リピーター集客戦略としても有効となっている。 とらまる座／とらまるパペットランドの事業では、創造団体と観客との交流機会を様々な形で設けている。本指標については、とらまる座の夏休み公演の付随企画のみであるが、特別公演におけるアフタートークや、劇場ロビーでの自由交流、写真撮影会なども実施。人形劇ミュージアムでの公演では、ステージと観客席が近いこともあり、上演後にはより身近に観客と出演者(創造団体)が交流できる環境となっている。 コロナ禍を経て、また、近年の身障者団体のとらまるパペットランド施設利用として、劇場での舞台作品鑑賞よりも、人形劇ミュージアムの見学・体験が好まれる傾向にある。これは、小作品ながら周囲に気兼ねなく舞台作品鑑賞もでき、また、種々の人形劇体験も可能であるミュージアムの利用プランが団体の意向に合っていることと、開館30年を超えとらまる座よりも比較的新しい人形劇ミュージアムの方がバリアフリー環境が整っていることも考えられる。		

(2) 「多様性とアクセシビリティ」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

とらまる座は1992年の設立・開館から30年を超える施設であり、現在のバリアフリー観点にそぐわない構造(2F席への移動経路が階段しかない／多目的トイレ(身障者トイレ)の設備が不十分 等)が、身障者団体や低年齢乳幼児を連れた家族等の利用においてハードルになっていることが考えられる。施設構造に至る部分の改修は市財政としても困難であるが、玄関前の段差の解消(車イス・ベビーカー用スロープの設置)などはこれまでも実施されてきた。本年の施設改修ではトイレの設備改修(多目的トイレにおけるオストメイトの設置／男性・女性用トイレともベビーカー用を設置する等)が実施された。

評価項目⑤: 自由設定(任意)

①創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性 の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。

評価の観点
国内人形劇文化中核施設として優れた事業を企画・実施

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
国内人形劇機関＝ ①全国専門人形劇団協議会 ②国際人形劇連盟UNIMA日本センター からの事業評価	当年度の当館実施事業について高評価を得る	当年度の当館実施事業…●公演事業／●育成事業／●普及事業について、 全国専門人形劇団協議会 専務理事 および 国際人形劇連盟(UNIMA)日本センター 副会長・事業委員長による評価を受けた。 ＊本助成適用外企画事業も含む 評定項目については5段階評価において ほとんどの項目で「5」の評価を得られ、 自由記述においても各事業の企画意図や実施事項についての意義が高く評価された。	評価項目と結果については以下のとおり ●公演事業 (企画力)・(自主性)・(創造性)・(牽引力)・(実務技能:技術・接遇)・(総合評価) 全人協 5 / 5 / 3 / 5 / 4 / 5 ウニマ 5 / 5 / 3 / 5 / 5 / 5 (自由記述) さまざまな劇団のプログラムをこれほど数多く実施していることは素晴らしい。 スタッフの接遇がとても気持ちが良い。出演者、観客への気配りもとても行き届いている。 ●育成事業 (企画主旨)・(マネジメント)・(育成成果(期待度))・(総合評価) 全人協 5 / 5 / 5 / 5 ウニマ 5 / 5 / 5 / 5 (自由記述) 今の人形劇界にとって必要なことを的確に計画して実施していることが素晴らしい。 色んな劇団が相互に交流・刺激し合ってお互いを向上できる仕組みになっているのが良い。 ディスカッションの進め方、雰囲気がとても良い。 ●普及事業 (地域における有意性)・(継続価値)・(将来展望)・(総合評価) 全人協 5 / 5 / 5 / 5 ウニマ 5 / 5 / 4 / 5 (自由記述) 地域内で、劇場施設以外でもこれだけの取組みをしていることに感服。 まちのお店の人と話してもみんなとらまるの人形劇のこと知っているもんね。 (注＊実際はそうでもないが…) 【評価における所感等】 事業評価については当初は公立文化施設協会の支援員や、他の劇場・文化会館運営者など、人形劇以外の分野の人に評価を受けることを想定していたが、今回はそこまで到らなかった。ある意味、人形劇の専門機関から高い評価を得られることは想定どおりだったので、今後は人形劇以外の分野の人からの事業評価を得られるように取り組んでいきたい。		

評価項目⑥:運営体制と持続可能性

評価の観点		現状	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
「実現性」の評価項目より							
(ア)	(多様な財源の確保)予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	指定管理委託料・事業収入以外の収入(助成金・協賛金・業務受託等)が全収入額の20%(1600万円)	25%(2000万円)	全収入額7850万(パペットランド付帯施設収入含む)のうち助成金・協賛金・業務受託等の収入額2120万(27%)	外部業務受託の増数により目標達成		
(イ)	(広報・営業力)広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。	インターネット広報の不足	広報戦略の見直し。ネット広報を拡充する体制構築	広報戦略の見直し、拡充体制の構築には着手できず	新規企画の実務増により広報体制の改革に手が回らなかった		
(ウ)	(他館連携)他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	他館連携あり	連携先の拡充	2025年企画において「しいの実シアター(島根県)」と連携企画を計画	新規連携		
(エ)	(設置者)円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。	設置者との関係は比較的良好	所轄(教育委員会生涯学習課)以外の課とも連携体制を拡充	2025年度において「東かがわ市 地域創生課」との連携企画を計画	瀬戸内芸術祭関連での連携企画であるが、人形劇の扱いは小さいらしく意義は小さい見込み		
「持続可能性に関するチェックシート」より							
(オ)	(芸術監督)芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	1名	芸術監督と経営責任者を分担	分担ならず	運営予算規模と社会情勢(賃金増・経費増)から難しい		
(カ)	(長期的経営)長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。	1名	芸術監督と経営責任者を分担	分担ならず	運営予算規模と社会情勢(賃金増・経費増)から難しい		
(キ)	(専門人材の確保)今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	人形劇専門員が3名在中	専門員拡充	拡充ならず	運営予算規模と社会情勢(賃金増・経費増)から難しい		
(ク)	(職制の整理)芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。	兼任が多い	専門性に則った業務分担できる体制が理想ではあるが予算・施設規模から難しい	体制改革ならず	運営予算規模と社会情勢(賃金増・経費増)から難しい		
(ケ)	(世代間バランス)年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。	平均年齢は45才。比較的若いといえる?	今後も継続して若年層の雇用に努める	2025年9月に20代職員採用予定	若手の雇用は利用者に対する接遇向上にも寄与するものと期待している		
(コ)	(ジェンダーバランス)女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。	管理職4名のうち2名が女性	継続	継続	現状はいいバランスである認識を持っている		
(サ)	(ワークライフ・バランス)仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	一般職員の残業はほぼ無い。咄嗟の休日・短時間休暇等も取りやすい体制である。	継続	継続	労働基準法の制約を受けない法人代表(館長)が肩代わりしている…?		
(シ)	(コンプライアンス順守)情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。	毎年様々な制度・法令ができるが、情報共有・研修等を適宜実施。	継続	継続	部署内研修・情報交換を適宜実施		
(ス)	(ハラスメント防止対策)職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	指針等は未策定。	研修会に参加	2024年9月 市職員向け「ハラスメント防止」研修会が開催されたが、施設事業との兼ね合いで参加できず。資料受取り。	職員の関係・業務遂行コミュニケーションは良好でありハラスメントがそもそも無い…かな…		
(セ)	(適正な契約事務)アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。	金額・日程・実務内容等を明記した上演確認書(業務確認書)を交わしている。	継続	継続	継続		

4. 総評

・ 団体の自己評価

2012年(平成24年)「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」・2017年(平成29年)「文化芸術基本法」が制定され、地域の文化施設は主体的な芸術文化事業の意義が重要視されるようになった。また、近年では「社会包摂～あらゆる分け隔てのない健全な社会の構築～」の意義も高まっている。人形劇場とらまる座は、人形劇専門劇場として国内屈指の公演実績・活動事業実績を持ち、また、人形劇は、最も普遍的かつ多元的多様性を包含した芸術文化である。

当法人：一般社団法人パペットナビゲートは、2013年度に人形劇場とらまる座(含む「東かがわ市とらまるパペットランド」)の指定管理者となつて以降、国の文化政策の推移とともに、まさに「時代の後押し」を受けて、その事業実績を着実に向上させてきている。とらまる座では、2015年度の事業から関連国際機関との連携が密となり、また毎年海外公演事業を実施してきた過程で主催劇場としての体制・ノウハウを構築してきた。また、とらまる座の持つ優れた企画力・現場対応力は、国内の人形劇を含む芸術創造団体や国際企画中枢機関からの信頼も厚い。企画内容の向上とともに広報戦略も向上させ、特別公演実施時には、東かがわ市～香川県内はもとより、高度な人形劇プログラムの鑑賞機会に乏しい中四国・西日本広域から多くの鑑賞ファンが訪れるようになった。

当館では、2021年～2023年度における3カ年計画・特別プロジェクトの様々な特別企画を実施してきた過程を経て、他地域文化施設や運営団体・芸術創造団体との新たなパイプも構築され、人形劇文化と地域の結びつき・地域芸術文化振興・文化による地域創生に寄与する様々な発展的事業プランの実現に向けた知見・ノウハウが蓄積されてきている。本年は「とらまる人形劇カーニバル(旧名:レクリエーションと人形劇のカーニバル)」開催40周年にともなう特別企画および『地域芸術文化振興事業・人形劇特別企画』の海外劇団作品や、当助成対象外企画である大型舞台人形劇作品などの特別公演企画を実施。

育成事業においては、本年度より「トライアルプログラム」に取り組み、また海外人形劇ワークショップも実施…と、本年度においても公立の小規模劇場としては全国随一ともいえる事業を実施している。人形劇公演の主催・実施にとどまらず、劇団やジャンルの垣根を越えて芸術創造団体間の交流・創造刺激を図る取組みを多角的に実施したことは、人形劇を含む国内舞台芸術分野の振興に大きく寄与したものと捉えている。ただ、膨大な実施実務に追われ広報戦略の向上に至らず、企画事項に対し広報力が弱いのは依然として課題となるところである。

当施設の多岐にわたる事業企画は、国内人形劇界・芸術文化中枢機関からも注目され、文化庁および日本芸術文化振興会の助成審査事務局の視察員からも高い評価を受けている。国内人形劇界の統括団体である「全国専門人形劇団協議会」「国際人形劇連盟UNIMA日本センター」との連携事業も計画されており、地域の芸術文化中核拠点にとどまらず国内人形劇界の重要拠点としての意義もますます高まっている。

人形劇は、誰にでも親しみやすく、また高度な芸術性を包含する文化である。近年、「成熟社会における社会包摂の成就」が国策の大きなテーマとして掲げられるようになり、文化施設(劇場)には大きな使命がある(求められている)と捉えられるようになってきている。社会包摂の核は「異端の存在(＝普遍外の存在)に対する共有(寛容)認知」にあるが、人形劇文化(舞台作品)がもつ多元的多様性は、社会包摂の究極体であるといえるだろう。

人形劇の社会的・芸術的意義の本質に基づき、これまで培ってきた「とらまる座で観られる人形劇は面白い」「東かがわ市の人形劇事業は素晴らしい」の評判を保ち、「人形劇場とらまる座(東かがわ市とらまるパペットランド)」は、国内随一の人形劇場(人形劇の専門・複合施設)として、優れた舞台芸術作品および芸術文化振興企画を提供するとともに、これまでの事業に加え、人形劇文化と地域文化の発展につながるべく事業展開(自主創作公演、高齢者対象の人形劇事業、世代間交流事業、多機能型ワークショップ企画、創造団体連携のイベント企画など)を見据えている。地域行政および関連機関・地元住民団体との連携を深め、芸術創造力を地域に還元。地域文化創造の中核劇場としての役割を果たし、将来にわたりユニークな地域創生と地域活性化に寄与する所存である。

・ 所見

